

# 行歯会だより 第 176 号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会) 令和 4 年 10 月号



## 1 福岡市「オーラルケア 28 (にいほち) プロジェクト」

福岡市保健医療局健康医療部口腔保健支援センター 口腔保健支援係長 新井 優花

## 2 NEW FACE

愛媛県東予地方局 (西条保健所) 健康増進課 (兼 四国中央保健所保健課)

歯科衛生士 吉見 育峰

## 3 都道府県世話役のつぶやき

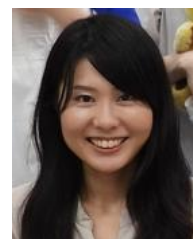
山形県がん対策・健康長寿日本一推進課 主査 吉田 雪絵

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課 主任 得津 康子

## 1 福岡市「オーラルケア 28 (にいほち) プロジェクト」

福岡市保健医療局健康医療部口腔保健支援センター

口腔保健支援係長 新井 優花



行歯会の皆様には日頃から貴重な情報をいただきありがとうございます。この度、お声掛けを頂きましたので、福岡市における歯科口腔保健推進の取組み「オーラルケア28 (にいほち) プロジェクト」について簡単ですがご紹介させていただきます。

### (1) 福岡市のご紹介

福岡市は、人口約 163 万人を有し、人口増加率と若者の割合が高い政令指定都市です。充実した都市機能がコンパクトに集約され、空港から市街地へのアクセスは地下鉄で約 10 分と、世界トップレベルとの評価をいただいております。中心部はオフィスビルや商業施設が立ち並ぶ一方で、豊かな自然にも恵まれており、市街地を取り囲む山並み、都心部の大濠公園という大規模な公園に加え、中心部から少し歩けば目の前には博多湾が広がります。グルメの街でもあり、玄界灘で獲れた新鮮でおいしい魚や、皆様ご存知の名物博多ラーメン、そしてあまり知られていませんが実は名物のうどん (福岡は日本のうどん発祥の地とされています) など、魅力的な食文化が根付いています。機会があれば、ぜひ足をお運びください。

## (2) 福岡 100

そんな福岡市では、2017年より、人生100年時代を見据え、誰もが健康で自分らしく暮らせる持続可能なまちを目指し、健康・医療・介護だけでなく住まいや地域づくり、働き方なども含めた広い意味での「まちづくり」に取り組むプロジェクト「福岡100」を推進しています。これまでに、認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード(R)」の普及啓発や認知症カフェ開設促進等、認知症の方が安心して暮らせるまちづくりを推進する「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」や高齢者などの外出促進を目的に地域や企業などと一緒にベンチを設置する「ベンチプロジェクト」、歩数や市イベント等の参加で獲得したポイントをお得なクーポン等と引き換えできることでウォーキング促進を目指す「ふくおか散歩」など、93のアクション(8月末現在)を実施してきました。



## (3) オーラルケア28(にいはち)プロジェクト

その福岡100の取組みの1つとして、産学官一体の歯科口腔保健推進の取組み「オーラルケア28(にいはち)プロジェクト」を2021年度より実施しています。その数年前から、市内部で歯・口腔の健康の重要性について理解が深まり、より一層強力に歯科口腔保健を推進する機運が、年々高まっていました。口腔保健支援センターは、2015年の設置後、兼任の課長・係長、常勤の歯科医師、非常勤の歯科衛生士という体制でしたが、2020年度には、係長が専任となり、かつ新たに1名戦力が投入され、同年、先行事業として、在宅要介護高齢者を対象に無料で、通院又は訪問による歯科健診及び口腔ケアを実施するという「高齢者口腔ケア推進事業」を開始したのを皮切りに、プロジェクト開始に向けた動きが加速し、そして、迎えた2021年、関係部署・関係団体と連携のもと、一大プロジェクトとして立ち上げるに至りました。



図1. オーラルケア28プロジェクト共同記者発表

本プロジェクトは、「歯は100年のパートナー Well-being with TOOTH」というコンセプトのもと、市民の皆さまが、永久歯28本と口腔機能を生涯健康に保ち、健康寿命の延伸とWell-beingの向上につなげるため、乳幼児・学童期、成人期、高齢期それぞれの世代の特性に応じた、予防重視の様々なアクションを、産学官それぞれが持つ資源を活用しながらオール福岡で推進するものです。市歯科医師会、九州大学、福岡歯科大学、県歯科衛生士会の皆さまを中心に、ワーキングを重ね、2026年度までを計画期間としたアクションプランを作成し、民間企業等も巻き込みながら、新規アクションを展開しています。以下、具体的なアクションを1つご紹介したいと思います。

### ○ポケモンスマイルではみがき大作戦

実は福岡市は、12歳児のう蝕保有割合が全国より高いという問題を抱えていました。そこで、こどものう蝕減少を目標に、日々の歯みがきや歯科医院での定期健診の習慣付けを促すため、『ポケモンスマイル』というこどもの歯みがきを楽しく習慣化するアプリを開発した(株)ポケモンと市歯科医師会との3者で連携協定を締結し、(株)ポケモンがデザインした毎日の歯みがきを促すシールを市内の小学1年生に配布し、市歯科医師会が提供する無料健診につなげるという事業を開始しました。対象者は、自宅で歯みがき

をするたびに、保護者の方から台紙に1枚シールを貼ってもらえ、1カ月分シールを貼った台紙を実施医療機関に持参すると、無料歯科健診が受けられるとともに、スペシャルステッカーがもらえます。楽しみながらの歯科口腔保健行動の習慣化を狙っており、実際、子ども達が、「全部シール貼れたよ！」と嬉しそうに歯科医院に来てくれる、というお声が実施医療機関の先生方から続々届いております。シール等のデザインは(株)ポケモンの、また歯科健診は、市歯科医師会の先生方のご厚意でご提供いただいております、まさしく、それぞれの資源を活用した事業となっております。



図2. シール台紙 (外面)



図3. シール台紙 (内面) とスペシャルステッカー

他にも、18~20歳の新成人を対象とした無料歯科健診や、ロッセ、シャープ、新潟大学、九州大学と連携して実施する「bitescan とガムを活用した咀嚼力アッププロジェクト」、高齢者施設職員対象の口腔ケアのオンライン研修等、数々のアクションを実施中であり、次年度に向けての新規のアクションも構想中です。

※詳細はプロジェクトホームページをご覧ください。

オーラルケア 28 プロジェクト



#### (4) 最後に

このプロジェクトは、2026年度に向けて、今年度以降も引き続き、課題解決のための事業を展開していく予定です。毎日起こる様々なドラマに、とても刺激的な日々ですが、市内部を含め多方面から歯科口腔保健に熱視線を頂いているということ、また、関係者の皆さまから多大なご協力をいただけていることなど、とても恵まれた環境にあると感じておりますので、今後も引き続き、職員一同、心を込めて、業務に邁進・精進してまいりたいと思います。

©2020 Pokémon. ©1995-2020 Nintendo/Creatures Inc./GAMEFREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

## 2 NEW FACE

### 愛媛県東予地方局 (西条保健所) 健康増進課

(兼 四国中央保健所保健課)

歯科衛生士 吉見 育峰



#### (1) はじめに

行歯会の皆様には、日頃より有益な情報やお知らせをいただき感謝申し上げます。この度、貴重な機会を頂戴しましたので、愛媛県について紹介いたします。

## (2) 自己紹介

私の出身地は、真珠や真鯛の養殖が盛んな愛媛県南部に位置する宇和島市です。福岡県の短大で歯科衛生士免許取得後の1年間は、附属病院の矯正歯科を専攻し口腔保健学士をとりました。修了後は、広島県の大学病院で勤務し、令和元年度に愛媛県に入庁しました。

## (3) 愛媛県の歯科職

愛媛県の歯科職は、歯科医師1名・歯科衛生士7名・歯科技工士1名の計9名です。それぞれが保健所・県庁・県立病院で勤務しており、県型保健所に従事する歯科職配置が多いことが特徴です。

最初に配属された県中央部の中予保健所では歯科衛生士の先輩が在籍しており、行政のことを1から丁寧に教えていただきました。現在は異動して2保健所兼務で歯科職1人配置となり、分からないことがあると先輩方に電話をかけまくる迷惑な後輩なのですが、快く、そして惜しみなくアドバイスを下さる優しい先輩方に本当にいつも支えられています。

## (4) 業務について

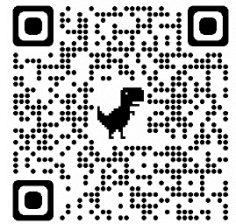
入庁して最初に携わったのが「愛媛県版フッ化物洗口実施マニュアル」の作成でした。フッ化物洗口事業実施にあたって支援をする中で、学校や市町教育委員会等は人事異動があることから、初めてフッ化物洗口に関わる担当者の負担が大きいと感じ、現場担当者にわかりやすく、かつ県担当者としても学校等へ情報提供や助言に活用できるマニュアルを心掛けました。

例年実施している小中学校等対象の歯みがき教室は、現在、マスクを外して行う実技の代わりに動画や模型を用い原則講話のみとしています。ブラッシング指導を希望された場合は、事前に養護教諭と実施方法について協議を行い、「実技指導における感染防止対策チェックリスト（県歯科保健担当者確認用）」に基づき実施するよう徹底するなど、感染状況や学校の希望を踏まえて柔軟に対応しています。

コロナ禍で対面の保健指導が難しくなり、思うように事業実施ができない時期に各関係機関配布用に作成した数種類の啓発リーフレットやポスターは、個人的に、歯科講話でマストな媒体となっています。

(コロナ業務もある中、歯科職全員で力を合わせて頑張ったので作った媒体なので二次元コードからチェックしていただければ嬉しいです！) ⇒

今年は、入庁してから初めて愛媛県県民健康調査（歯科保健状況調査）を実施する年になっており、「まだまだ知らない業務が沢山あるな・・・！」と不安を感じつつも、新しい学びを楽しみながら日々業務に励んでおります。



## (5) 愛媛県の紹介

松山市にある道後温泉は現在保存修理工事中で、宇和島市出身の現代美術家・大竹伸郎さんのアート（右写真）がプリントされたテントで覆われています。愛媛のJRは自動改札機がなく、駅員さんに切符を手渡しするという都会では味わうことができないレア体験も楽しめて、空港や観光物産館などでは、巷で噂の「蛇口からみかんジュース」も出ます。気兼ねなく旅行ができる日がきたときには、是非愛媛に遊びに来てください♪



### 3 都道府県世話役のつぶやき

#### ●●●●● 山形県 ●●●●●

#### 山形県がん対策・健康長寿日本一推進課

主査 吉田 雪絵



山形県おもてなし課長 きてけろくん

“きてけろ”は、山形弁で  
“来てください”の意味です

行歯会の皆様、こんにちは。いつも有意義な情報をありがとうございます。山形県の世話役を仰せつかっております吉田と申します。

私は県行政の歯科専門職として着任し8年目となります。それまでは大学病院の歯科口腔外科で診療を行っていましたが、大学の公衆衛生学講座の社会人大学院生としてお世話になっていた折に声を掛けられ、県の仕事を担当することとなりました。それまでは臨床の経験しかなく、県行政の仕事など何もわからない状態でのスタートで、身近に歯科専門職もおらず右往左往していましたが、県歯科医師会の先生方や行歯会の皆様のお力もあり、なんとか仕事を続けることができました。

本県の歯科専門職は、県に常勤歯科医師1名（私）と非常勤歯科衛生士1名となっております。常勤歯科医師といっても、療育センターでの歯科診療も週3で行っているため、県庁での仕事は週2日のみで、なかなか厳しいところもあります。また、市町村では、35市町村のうち歯科衛生士を配置しているのが4市町と少ないのが現状です。以前は市町村での歯科保健条例制定の動きなどがありましたが、ここ数年は新型コロナの影響か歯科保健の分野での動きがなくなりました。

新型コロナの影響で歯科保健事業の実施に関しても以前と大きく変化しており、対面での実施が難しいものも増えましたが、今年度になり少しずつ以前のように戻そうとする動きになってきたと思います。今年度は3年ぶりに健康イベント『やまがた健康フェア2022』をイオンモールで実施することになり、山形県口腔保健支援センターとしても歯科ブースを設置し、今年度の厚生労働省モデル事業『歯科健康診査推進事業』も同時に実施することとなりました。今準備を急ピッチで進めているところです。

暑かった夏も終わり、最近ようやく涼しくなってきました。山形は稲作も盛んですが、いたるところの田んぼが緑から黄金色になってきて、もうすぐ収穫の時期だなと感じております。先日山形では3年ぶりに河原での『日本一の芋煮会フェスティバル』が開催されました。新型コロナが一刻も早く終息し、以前のような日常が取り戻せることを願っています。(9月21日記)

#### ●●●●● 和歌山県 ●●●●●

#### 和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

主任 得津 康子



和歌山県PRキャラクター  
きいちゃん

行歯会の皆様、いつもお世話になりありがとうございます。和歌山県の世話役の得津です。日頃は専ら情報をいただく側として日々メーリングリストを拝見しております。

編集ご担当の方から依頼を頂戴したのが7月22日。その際、「コロナと関係ないことをつぶやけること

を願うばかりです」とお返事したものの、その1か月後には第7波のピークを迎えることになり、「コロナが～」な毎日がなくなることはありませんでした。

そんな中ではありますが、8月末に近畿地区の各府県と保健所設置市の歯科保健担当者の会議が集合型で開催され、県境を越えるのはいつ振りか！まだまだ沸いている中大丈夫か？けど、行動制限されていないし・・・、と色々な意味でちむどんどん（配信される頃は終わっていますね。）しながら参加いたしました。久しぶりの生議論の場はとても有意義な時間でした。大変な中、開催県として準備・運営いただいた堀江会長、ありがとうございました！

さて、間もなく歯科疾患実態調査が実施されますが、各自治体においては現歯科保健計画の最終評価及び次期計画策定に向けての検討をはじめられているところも多いのではと存じます。本県においては、実態調査と併せた口腔内診査の拡大実施は行わないものの、県民健康・栄養調査の中で歯科保健行動・意識調査を行います。平成30年に実施した中間評価では、設定目標の約8割が改善（うち5割が目標達成）を示していましたが、依然壮年期の歯周病罹患状況は上昇しており、特に高齢化率と介護認定率の高い本県にあって超高齢期になって一気に歯を失う可能性と歯数はあるが果たして口腔機能の健全な維持につながるのか、と不安を感じています。この不安を払拭するためにも次期計画策定時には、“手遅れにならない切れ目のない”を軸とした歯科保健対策を考えていきたいと思えます。

行政に従事して四半世紀。その間、歯科の常識もどんどん変わりつつあります。保健指導一つとっても常識が非常識になったものも一つ二つではなく、アップデートが間に合わない事態にならないよう、気をつけなければと切に感じる今日この頃です。

そして、“ぼっち感”強めなこの職種でも行歯会のお陰で色々な情報や刺激をいただけることに感謝しております。皆様、今後ともどうぞよろしく申し上げます。

### 「歯っとサイト」掲載コンテンツ募集！

「歯っとサイト（歯科口腔保健の情報提供サイト）」

<http://www.niph.go.jp/soshiki/koku/oralhealth/index.html> では、

掲載コンテンツを募集しています。

掲載を希望される場合は、「行歯会だより」の配信メールに記載されている編集担当宛にご連絡ください。

### ♪ 編集後記 ♪

今号から編集担当のペアが変わりました。Hさん、今までたくさんお世話になり、ありがとうございました。そして島さん、名前が一文字違い（イニシャルも同じ）という偶然の組合せにご縁を感じています。（條）

前任のHさん、1年2か月、お世話になりました。今号から編集担当となりました。まだまだ、慣れないところですが、みなさま、どうぞよろしく願いいたします。（島）